

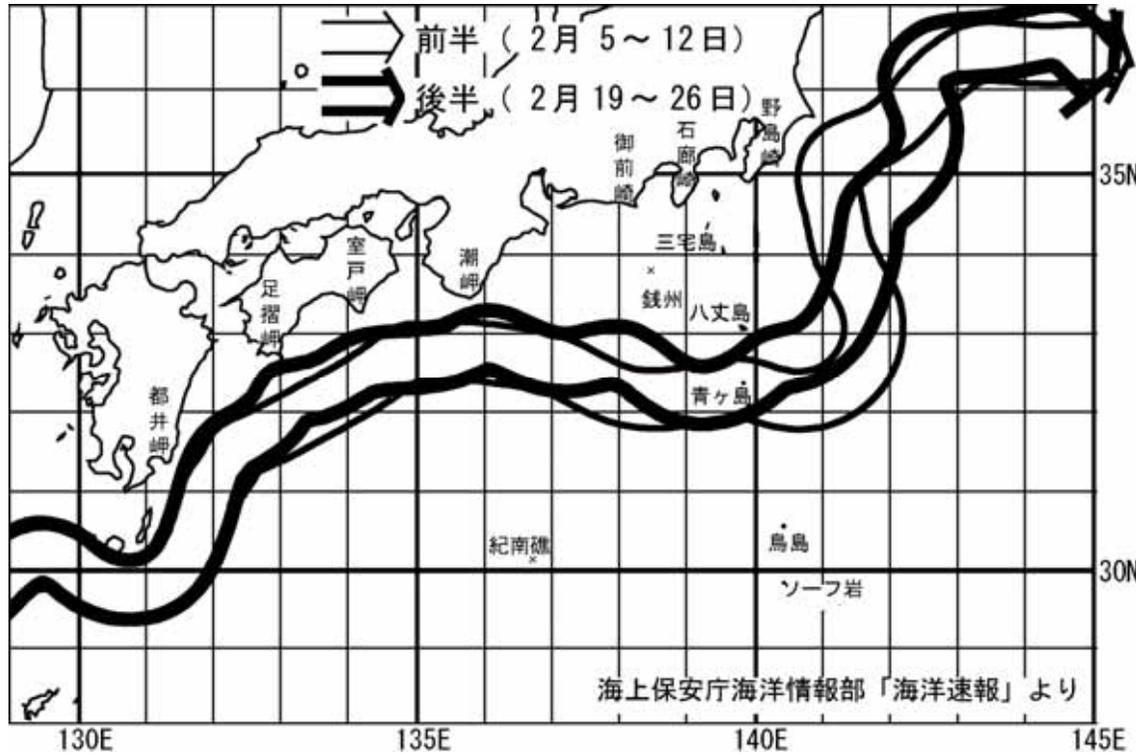
漁海況月報

平成26年 2月 1日

No. 2

～2月28日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



[黒潮流路]

前半の黒潮は、室戸岬、潮岬で離岸した後、遠州灘沖を南東に進んだ。伊豆諸島付近で32.3°N付近に離岸し、伊豆諸島の東側を北上して房総半島沖へ流れた。後半は、潮岬を小蛇行が通過した。遠州灘沖では33.6°N付近に離岸して八丈島の南を通過した後、北東に向かい、房総半島沖を離岸して流れた。熊野灘には小蛇行から暖水が波及し、遠州灘沖に達した。

[県下沿岸域]

相模湾側は、月を通じて下田では「やや高め」、その他では概ね「平年並」であった。駿河湾は、上・中旬は「やや低め」、下旬は地頭方で「低め」、その他では「平年並」～「やや低め」であった。

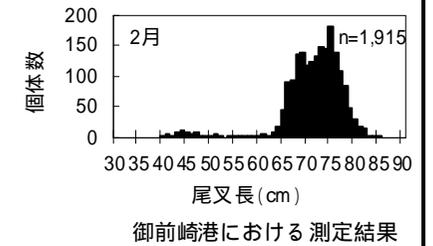
[竿釣カツオ]

2月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は89トンで前年同期の42%であった。魚価は365円/kgで、前年同期を上回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、19°～21°N、138°～141°Eの中南海域で特特大（尾叉長75cmモード）、特大（尾叉長69cmモード）カツオを主体に小・極小（尾叉長44cmモード）カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量（近海+沿岸船、県内主要5港）

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
26年 2月上旬	39	2	19.5	320
中旬	26	2	13.0	398
下旬	24	2	12.0	403
26年 2月 計	89	6	14.8	365
25年 2月 計	212	10	21.2	211
24年 2月 計	108	11	9.8	442



御前崎港における測定結果

定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.4	14.1	14.5	13.0	13.0	12.7	10.9
	-0.5	-0.4	0.7	-1.4	-1.1	-0.8	-0.6
中旬	13.7	14.0	14.4	13.1	12.8	12.7	10.4
	-0.2	-0.2	0.7	-1.2	-1.2	-0.7	-1.2
下旬	13.5	14.6	14.4	13.9	13.0	13.2	10.0
	-0.2	0.6	0.8	-0.4	-0.7	-0.2	-1.7
月	13.5	14.2	14.4	13.3	12.9	12.8	10.5
	-0.3	0.0	0.7	-1.1	-1.0	-0.6	-1.1

[定 量 網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は581トンで前年の同漁場の水揚量（286トン）の2.0倍となった。また、1か統あたりの水揚量は83.0トンで前年（40.8トン）の2.0倍、平年（昭和57～平成25年の平均28.8トン）の2.9倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとカタクチイワシ、スルメイカ、サバ類の順に多かった。カタクチイワシは主に古網、北川漁場に、スルメイカは大半が北川漁場に水揚げされ、サバ類はゴマサバ主体であった。ブリは殆ど谷津漁場に水揚げされた。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が134.4トン（スルメイカ、カタクチイワシ、サバ類など）、古網漁場が132.7トン（カタクチイワシ、ブリ、サバ類など）、谷津漁場が92.9トン（ブリ、スルメイカなど）の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
カタクチイワシ	188.8	2.6	3.3	古網、北川、川奈
スルメイカ	152.8	0.9	6.7	北川、富戸、谷津
さば類	111.8	6.3	6.0	富戸、北川、川奈
ブリ	96.3	74.2	6.7	谷津、古網、川奈
マルソウダ	5.9	18.5	-	伊豆山、北川、古網

[調査船の動向]

駿河丸			
2月 3日	～	2月 4日	地先定点観測調査及びサクラエビ(MOHT)調査 (2日間)
2月 6日	～	2月 7日	地先定点観測調査及びさば類撒餌試験、標識放流調査 (2日間)
2月 13日	～	2月 14日	シラス調査及びハダカイワシ調査 (2日間)
2月 17日	～	2月 19日	さば類撒餌試験、標識放流調査 (3日間)
2月 24日	～	2月 24日	ドック回航 (1日間)

[サバたもすくい棒受網]

2月には全船がたもすくいに転向し、操業した。小川港にはマサバ536トン(前年同月比117%)、ゴマサバ97トン(前年同月比41%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量はマサバ11.7トン(前年同月比92%)、ゴマサバ2.1トン(前年同月比32%)であった。1kgあたり平均単価は、マサバが301円であり前月(193円)前年同月(182円)を上回った。ゴマサバが170円で前月(101円)前年同月(80円)を上回った。

操業海域は、マサバ主体で、上旬から下旬にかけて三本で操業した。

マサバは35cmにモードを持つ4歳魚主体、ゴマサバは32cmにモードを持つ2歳魚主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
26年 2月上旬	81	42	4	13	6.2	3.2	366	123	三本
中旬	160	36	4	15	10.7	2.4	481	247	三本
下旬	295	19	5	18	16.4	1.0	185	124	三本
26年 2月 計	536	97	13	46	11.7	2.1	193	170	
25年 2月 計	459	235	11	36	12.7	6.5	182	80	利島、三本
24年 2月 計	599	271	13	38	15.8	7.1	138	46	ひょうたん瀬 三本 三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[まき網]

小川港のマイワシの水揚げは0トン(1kg)とほとんど無かった(平年同期429.0トン)。沼津港のマイワシの水揚げは無く(平年同期560.9トン)、カタクチイワシの水揚げも無かった(平年同期の水揚げもなし)。静浦港のマイワシの水揚げは無く(平年同期の水揚げもなし)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期の水揚げもなし)。伊東港のマイワシの水揚げは2.4トン(平年同期46.1トン)であった。

注) 平年: 過去5か年(2009~2013年)平均

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

